

A-cology



Vol.09

2017.3 発



株式会社エービーエム
エコアクション21推進委員会 発行

省エネ家電の秘密を解明!!

エコアクション21推進委員会では、省エネ家電がどうして省エネなのかを調べるため、調査員を現地に派遣し、その秘密に迫りました。メーカー担当者は「極秘事項だから」と口ごもって教えていただけなかったのですが、我々は、あるルートを通して極秘資料を入手、その全貌を明らかにする。(うそ)



そんなわけで、省エネ家電がどうして省エネなのかを、時代の最先端であるインターネットを駆使して調査いたしました。まずは、身近な家電の冷蔵庫です。

■冷蔵庫の省エネ技術

その1 インバーターがすごい!

冷蔵庫のインバーター制御は、従来一定だったコンプレッサの回転数を変化させ、効率よく運転する技術です。扉の開閉や、庫内・周辺温度に適した状態で、コンプレッサの回転数を制御しきめ細かい運転が出来るため、冷え具合に応じて冷却力を効率良く制御し、省エネ効果を発揮します。

その2 自動省エネ運転がすごい!

長時間扉の開閉がない時、室内が暗くなった時など、自動的に省エネ(節電)運転に切り替え、通常運転と比較して消費電力を低減させます。

その3 断熱材がすごい!

高性能断熱材の使用により、庫外からの熱の侵入を防止。断熱効果の上昇により、省エネに貢献します。真空断熱材の熱伝導率は従来のウレタンに比べ約10分の1です。

次回はテレビ編をお送りいたします。

株式会社エービーエムは、環境省が定めた「エコアクション21」という環境マネジメントシステムを導入し、その認証登録をいたしました。全社員がこの「エコアクション21」への理解を深め、より楽しく「エコ」活動を進めていただけるように、環境活動情報をこの「A-cology(エーコロジ)」で発信してまいります。このA-cologyは児童会館ようごさんくんだよりの裏紙を再利用して発行しております。

今月のECO目標

自家用車の燃費を意識してみよう

自家用車の燃費って意識していますか? 最近の車は燃費が表示されるようになっていたりするので、目にしている人は多いと思います。車の種類・性能が違えば燃費も違ってきます。ハイブリッドカーなどは約20km/Lを超え、同じ道、同じ距離を走るなら燃費が良い車の方が当然ガソリン代が安く済みます。自動車の燃費は「車の重さ」「走る環境」「車の調子」などの使う条件で変化します。荷物をたくさん詰め込んで山道を走っている時は燃費は悪くなります。燃費向上のために余計な荷物は降ろしましょう。また、タイヤの空気圧が規定値より低い、エンジンオイルが汚れているなど、車の調子・状態が悪いと、燃費は悪くなります。車検の時だけではなく、定期的にガソリンスタンドなどで点検をしてみましょう。普段のメンテナンスを怠っていると燃費は悪くなるだけではなく、突然、予想外のトラブルに合う可能性もあります。長く快適に乗れば、それが真のエコにつながります。

社有車 E-1GP

1月	燃費	車種	所属	先月
1位	15.6 km	日産モコ	営業	10位
2位	15.4 km	日産デイズ	業務部	1位
3位	11.6 km	スバルサンバー	設備管理部	2位
4位	11.3 km	ホンダ軽ゴン	業務部	6位
5位	10.8 km	スズキ ラゴン	児童会館	7位

雪の多かった1月、予想通り荒れた展開になりました。絶対王者の日産デイズを押さえ、1位に輝いたのは、営業の日産モコ。くしくも日産の新旧軽対決となりましたが僅差で逃げ切りました。3位以下は大雪だったためか、燃費が軒並み下がっております。1月に続いて雪がたくさん降った2月、もう予想が出来ないぐらいの混戦模様。次月も見逃せません!

1月度 環境負荷表 (対象: 本社及び南陽営業所)

本社	購入電力 (kwh)	灯油 (L)	LPG (m)	ガソリン (L)	軽油 (L)	水使用量 (m)	一般廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物排出量 (kg)	化学物質使用量 (kg)	エコ商品購入率 (%)
H27	3,746	316	2.4	1,139	568	32	240	646	-	-
H28	3,889	610	2	1,056	495	24	135	0	0.1	89.0
増減	↑	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↑	-

営業所	購入電力 (kwh)	灯油 (L)	LPG (m)	ガソリン (L)	軽油 (L)	水使用量 (m)	一般廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物排出量 (kg)	化学物質使用量 (kg)	エコ商品購入率 (%)
H27	693	0	3.2	110	84	20	-	-	-	-
H28	679	143	2.3	164	89	16	42.3	-	-	45.7
増減	↓	↑	↓	↑	↑	↓	-	-	-	-

編集後記

豪雪に見舞われた1月、順調に減っていた本社の電気使用量もついに前年度を超えてしまいました。データを詳しく見てみると、融雪用の電力が昨年と比較して約2倍となっていました。事務所の電力使用量は、本社、営業所ともに削減しているのですが、この結果は残念ですが仕方ないですね。3月は特に寒暖の差が激しくなります。体調管理に十分留意して、楽しくエコでお願いいたします。